学校番号	１００７

令和３年度　福祉科

教科	福祉	科目	こころとからだの理解	単位数	２単位	年次	３年次
講座名	ケースワーク講座						
使用教科書	「コミュニケーション技術」（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、福祉援助に関わる理念や理論、技術について学んでいきます。
具体的には、社会福祉援助技術についての理論を学んだ上で、子ども、認知症高齢者、障がい者に対する支援について考えていきます。
プリントによる学習の他に、視聴覚教材を用いた学習、実習などを通して、より実践的な知識・技術を身につけていきます。
福祉に関わる援助は、「職業」的なことに限らず、日常生活の中にも密接に関連してきます。家庭や地域で関わったり、ボランティアに参加したりといった場面でも活用できるように、しっかりと学んでいって欲しいと思います。

2　学習の到達目標

（１）社会福祉援助技術全般に関する知識を習得し、福祉現場にとどまらず、家庭や地域といった場での援助活動を行うために必要な能力と態度を育てる。
（２）原則として班単位での学習とし、話し合いなどを通してより良い結論を導く。
（３）講義だけでなく、視聴覚教材や演習、実習などから、問題発見、整理および解決に関する技法や考え方を習得する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	社会福祉に関わる援助技術について関心を持ち、サービス利用者・家族と適切な人間関係を形成するために主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	社会福祉に関わる援助技術について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、福祉に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	信頼関係を構築するためにコミュニケーションに関する基礎的な技術を身に付け、コミュニケーションに関する諸活動にその技術を適切に活用している。	社会福祉援助技術に関する基礎的な知識を身に付け、コミュニケーションの持つ意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 グループワーク 実習への参加 レポート	プリントの記述 定期考査 レポート	プリントの記述 グループワーク 実習態度 実習日誌 定期考査	学習状況の観察 プリントの記述 レポート 発表 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	援助の技法とコミュニケーション	・コンセンサスゲーム ・援助とは ・社会福祉援助について ・集団援助としてのコミュニケーション	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a:社会福祉援助について感心をもち、援助技術の基礎について探求しようとしている。 b:社会福祉援助についての基礎的な知識や技術を基に適切に判断し、その過程や結果を適切に表現している c:社会福祉援助の関わる基本的な技術を身につけ、様々な資料や情報を収集し、適切に選択し、活用している。 d:社会福祉援助に関する基礎的な知識を身につけ、社会福祉援助の持つ意義や役割を理解している。	学習状況の観察 グループワーク プリントの記述 定期考査
2	援助の技法とコミュニケーション	・個別援助としてのコミュニケーション ・救急救命講習	○ 	○ ○	○ ○	○ 	a:社会福祉援助について感心をもち、援助技術の基礎について探求しようとしている。 b:社会福祉援助についての基礎的な知識や技術を基に適切に判断し、その家庭や結果を適切に表現している c:社会福祉援助の関わる基本的な技術を身につけ、様々な資料や情報を収集し、適切に選択し、活用している。 d:社会福祉援助に関する基礎的な知識を身につけ、社会福祉援助の持つ意義や役割を理解している。	学習状況の観察 グループワーク プリントの記述 定期考査
3	サービス利用者に応じたコミュニケーション	・認知症の人とのコミュニケーション ・施設実習 ・知的障がいのある人とのコミュニケーション	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:サービス利用者に関するコミュニケーションの様々な課題に関心を持ち、コミュニケーションの工夫について探求しようとしている。 b:サービス利用者とのコミュニケーションの様々な課題の解決を目指し、その技術や知識を適切に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c:サービス利用者とのコミュニケーションの様々な課題に対応する基礎的・基本的な技法に関する資料や情報を収集し、適切に選択して表現している。 d:サービス利用者とのコミュニケーションに関する基礎的・基本的知識と技術を身につけ、コミュニケーションの工夫について理解している。	学習状況の観察 グループワーク 実習への参加 レポート プリントの記述 定期考査

4	サービス利用者に応じたコミュニケーション	・知的障がいのある人とのコミュニケーション ・事例検討	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:サービス利用者に関するコミュニケーションの様々な課題に関心を持ち、コミュニケーションの工夫について探求しようとしている。 b:サービス利用者とのコミュニケーションの様々な課題の解決を目指し、その技術や知識を適切に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c:サービス利用者とのコミュニケーションの様々な課題に対応する基礎的・基本的な技法に関する資料や情報を収集し、適切に選択して表現している。 d:サービス利用者とのコミュニケーションに関する基礎的・基本的知識と技術を身につけ、コミュニケーションの工夫について理解している。	学習状況の観察 グループワーク プリントの記述

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。